

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年10月12日
【四半期会計期間】	第69期第2四半期（自 平成29年6月1日 至 平成29年8月31日）
【会社名】	株式会社 ミスターマックス・ホールディングス （旧会社名 株式会社ミスターマックス）
【英訳名】	Mr Max Holdings Ltd. （旧英訳名 MR MAX CORPORATION） （注）平成29年5月26日開催の第68回定時株主総会の決議により、 平成29年9月1日から会社名を上記のとおり変更いたしました。
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 平野 能章
【本店の所在の場所】	福岡市東区松田一丁目5番7号
【電話番号】	福岡（092）623 - 1111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員財務部門管掌 中野 英一
【最寄りの連絡場所】	福岡市東区松田一丁目5番7号
【電話番号】	福岡（092）623 - 1111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員財務部門管掌 中野 英一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第69期 第2四半期 連結累計期間
会計期間		自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日
営業収益	(百万円)	60,642
経常利益	(百万円)	1,596
親会社株主に帰属する四半期純利益	(百万円)	1,089
四半期包括利益	(百万円)	1,111
純資産額	(百万円)	21,286
総資産額	(百万円)	76,571
1株当たり四半期純利益金額	(円)	32.81
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	(円)	-
自己資本比率	(%)	27.8
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	1,822
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	465
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	1,047
現金及び現金同等物の四半期末残高	(百万円)	3,593

回次		第69期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成29年6月1日 至 平成29年8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	18.97

(注) 1. 当社は、前事業年度まで連結財務諸表を作成していないため、第68期第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については記載しておりません。

2. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

3. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 営業収益は、売上高と営業収入を合計したものです。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当第2四半期連結累計期間において、吸収分割の方式による持株会社体制への移行を目的として「株式会社ミスターマックス(旧会社名 株式会社ミスターマックス分割準備会社)」を新たに設立し、連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社グループは、前事業年度において決算期を3月31日から2月末日に変更いたしました。また、当事業年度において連結決算へ移行いたしました。これにより、前年同四半期及び前期末との比較分析は行っていません。

(1)業績の状況

「普段の暮らしをより豊かに、より便利に、より楽しく」を経営理念とする当社グループは、「価値ある安さ」をお客様に提供するべく、特に購買頻度の高い、普段の暮らしに直結する商品について、年間を通じて低価格を実現する取り組みを強化してまいりました。当第2四半期連結累計期間においても、4月より、暮らしに密着した500商品の値下げ断行セールを実施するなどし、安さの徹底に努めました。

また、お客様の利便性を高める取り組みとして、既存店である、大分県宇佐市のMrMax宇佐ショッピングセンターと、熊本県山鹿市のMrMax山鹿ショッピングセンターの2店について改装を行いました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、営業収益(売上高+不動産賃貸収入+その他の営業収入)は、606億42百万円となりました。販売費及び一般管理費は135億37百万円となり、その結果、営業利益は13億49百万円、経常利益は15億96百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億89百万円となりました。

(2)財政状態の分析

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、765億71百万円となりました。流動資産については、168億23百万円となりました。主な内訳は、商品86億32百万円、現金及び預金35億93百万円です。固定資産については、597億48百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産469億48百万円、投資その他の資産125億46百万円です。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、552億84百万円となりました。主な内訳は、長期借入金173億52百万円、1年内返済予定の長期借入金94億87百万円、支払手形及び買掛金85億21百万円です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、212億86百万円となりました。主な内訳は、資本金102億29百万円、資本剰余金79億80百万円です。

(3)キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益が16億円となり、減価償却費を10億88百万円計上した一方で、たな卸資産が9億77百万円増加したことなどにより、営業活動により得られた資金は18億22百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出などにより、投資活動の結果使用した資金は465百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

借入金の増加16億65百万円や配当金の支払4億62百万円などにより、財務活動の結果得られた資金は10億47百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、当第2四半期連結累計期間において24億4百万円増加し、35億93百万円となりました。

(4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成29年10月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	39,611,134	39,611,134	東京証券取引所 (市場第一部) 福岡証券取引所	単元株式数 100株
計	39,611,134	39,611,134	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成29年6月1日～ 平成29年8月31日	-	39,611,134	-	10,229	-	7,974

(6)【大株主の状況】

平成29年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
THE BANK OF NEW YORK, NON-TREATY JASDEC ACCOUNT (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	225 LIBERTY STREET, NEW YORK, NEW YORK 10286, USA (東京都千代田区丸の内2丁目7番1号)	6,435.5	16.25
有限会社 Waiz Holdings	福岡市東区松田一丁目5番7号	2,778.3	7.01
ミスターマックス取引先持株会	福岡市東区松田一丁目5番7号	2,388.8	6.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式 会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	1,965.2	4.96
株式会社 福岡銀行	福岡市中央区天神二丁目13番1号	1,414.2	3.57
MrMax 社員持株会	福岡市東区松田一丁目5番7号	1,392.2	3.51
平野 能章	東京都港区	1,075.5	2.72
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	東京都新宿区西新宿一丁目26番1号	801.2	2.02
平野 耕司	福岡市東区	763.6	1.93
平野 淳子	東京都港区	721.1	1.82
計	-	19,736.0	49.82

(注) 提出会社は自己株式 6,413.3千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 6,413,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 33,061,300	330,613	-
単元未満株式	普通株式 136,534	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	39,611,134	-	-
総株主の議決権	-	330,613	-

(注)上記「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、3,500株(議決権の数35個)含まれております。

【自己株式等】

平成29年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ミスターマックス	福岡市東区松田一丁目5番7号	6,413,300	-	6,413,300	16.2
計	-	6,413,300	-	6,413,300	16.2

(注)上記のほか株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が400株(議決権の数4個)あります。

なお、当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式に含めております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成29年6月1日から平成29年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年3月1日から平成29年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,593
売掛金	2,251
商品	8,632
貯蔵品	72
その他	2,274
流動資産合計	16,823
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	15,923
土地	27,166
その他(純額)	3,858
有形固定資産合計	46,948
無形固定資産	
その他	253
無形固定資産合計	253
投資その他の資産	
その他	12,546
投資その他の資産合計	12,546
固定資産合計	59,748
資産合計	76,571

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間
(平成29年8月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	8,521
電子記録債務	6,256
短期借入金	1,000
1年内返済予定の長期借入金	9,487
未払法人税等	491
賞与引当金	555
その他	3,601
流動負債合計	29,915
固定負債	
長期借入金	17,352
退職給付に係る負債	942
店舗閉鎖損失引当金	196
資産除去債務	1,141
その他	5,737
固定負債合計	25,369
負債合計	55,284
純資産の部	
株主資本	
資本金	10,229
資本剰余金	7,980
利益剰余金	5,703
自己株式	2,599
株主資本合計	21,314
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	68
繰延ヘッジ損益	1
退職給付に係る調整累計額	96
その他の包括利益累計額合計	27
純資産合計	21,286
負債純資産合計	76,571

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 3 月 1 日 至 平成29年 8 月31日)
売上高	1 58,291
売上原価	45,755
売上総利益	12,535
営業収入	
不動産賃貸収入	1,939
その他の営業収入	411
営業収入合計	2,351
営業総利益	14,886
販売費及び一般管理費	
販売費	2,876
一般管理費	10,660
販売費及び一般管理費合計	2 13,537
営業利益	1,349
営業外収益	
受取利息	24
受取手数料	100
助成金収入	131
店舗閉鎖損失引当金戻入額	94
その他	31
営業外収益合計	383
営業外費用	
支払利息	122
その他	14
営業外費用合計	136
経常利益	1,596
特別利益	
投資有価証券売却益	21
その他	0
特別利益合計	22
特別損失	
固定資産除却損	7
割増退職金	10
特別損失合計	17
税金等調整前四半期純利益	1,600
法人税、住民税及び事業税	375
法人税等調整額	136
法人税等合計	511
四半期純利益	1,089
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,089

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	1,089
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	15
繰延ヘッジ損益	1
退職給付に係る調整額	6
その他の包括利益合計	22
四半期包括利益	1,111
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,111
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,600
減価償却費	1,088
賞与引当金の増減額(は減少)	61
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	13
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	219
受取利息及び受取配当金	30
支払利息	122
投資有価証券売却損益(は益)	21
テナント解約収入	0
固定資産除却損	7
売上債権の増減額(は増加)	1,011
たな卸資産の増減額(は増加)	977
仕入債務の増減額(は減少)	2,005
預り金の増減額(は減少)	291
その他	264
小計	1,959
利息及び配当金の受取額	6
利息の支払額	115
法人税等の支払額	40
法人税等の還付額	14
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,822
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	712
無形固定資産の取得による支出	88
投資有価証券の売却による収入	56
敷金及び保証金の差入による支出	62
敷金及び保証金の回収による収入	423
預り敷金及び保証金の受入による収入	69
預り敷金及び保証金の返還による支出	144
その他	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	465
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	300
長期借入れによる収入	6,500
長期借入金の返済による支出	5,134
自己株式の取得による支出	0
配当金の支払額	462
リース債務の返済による支出	155
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,404
現金及び現金同等物の期首残高	1,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,593

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、「株式会社ミスターマックス(旧会社名 株式会社ミスターマックス分割準備会社)」を新規設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結損益計算書関係)

1. 消化仕入による売上の純額は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間
(自 平成29年3月1日
至 平成29年8月31日)

600百万円

2. 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間
(自 平成29年3月1日
至 平成29年8月31日)

従業員給与手当	3,473百万円
賞与引当金繰入額	555
退職給付費用	69
減価償却費	1,088
賃借料	2,499

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間
(自 平成29年3月1日
至 平成29年8月31日)

現金及び預金勘定	3,593百万円
現金及び現金同等物	3,593

(株主資本等関係)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月26日 定時株主総会	普通株式	464	14.0	平成29年2月28日	平成29年5月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

当社グループは、小売及びこれに付随する事業を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	32円81銭
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	1,089
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(百万円)	1,089
普通株式の期中平均株式数(千株)	33,198

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年10月12日

株式会社ミスターマックス・ホールディングス

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 宮本 義三 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 徳永 陽一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミスターマックス・ホールディングス（旧社名：株式会社ミスターマックス）の平成29年3月1日から平成30年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年6月1日から平成29年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年3月1日から平成29年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミスターマックス・ホールディングス（旧社名：株式会社ミスターマックス）及び連結子会社の平成29年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。